アラートのウィンドウとダイアログボックスの説明

Active IQ Unified Manager

NetApp
November 13, 2026

This PDF was generated from https://docs.netapp.com/ja-jp/active-iq-unified-manager-918/events/reference_alert_setup_page.html on November 13, 2026. Always check docs.netapp.com for the latest.

目次

アラートのウィンドウとダイアログ ボックスの説明 . . . 1
- Active IQ Unified Manager のアラート設定ページについて . . . 1
  - コマンド ボタン . . . 1
  - リスト ビュー . . . 1
  - 詳細領域 . . . 2
- Active IQ Unified Manager の「アラートの追加」ダイアログボックスについて . . . 3
  - Name . . . 3
  - リソース . . . 3
  - イベント . . . 4
  - 操作 . . . 4
  - コマンド ボタン . . . 5
- Active IQ Unified Manager でアラートプロパティを編集する . . . 5
  - Name . . . 5
  - リソース . . . 5
  - イベント . . . 6
  - 操作 . . . 6
  - コマンド ボタン . . . 7

アラートのウィンドウとダイアログ ボックスの説明

Active IQ Unified Manager のアラート設定ページについて

[アラート セットアップ]ページには、アラートのリストおよびアラート名、ステータス、通知方式、通知頻度に関する情報が表示されます。また、このページでアラートを追加、編集、削除、有効化、無効化することもできます。

アプリケーション管理者またはストレージ管理者のロールが必要です。

コマンド ボタン

- 追加

  [アラートの追加]ダイアログ ボックスが表示され、新しいアラートを追加できます。

- 編集

  [アラートの編集]ダイアログ ボックスが表示され、選択したアラートを編集できます。

- 削除

  選択したアラートを削除します。

- 有効にする

  選択したアラートを有効にして通知を送信します。

- 無効にする

  通知の送信を一時的に停止する場合に、選択したアラートを無効にします。

- テスト

  選択したアラートをテストして、アラートの追加後または編集後にその設定を検証します。

- 解決済みおよび廃止されたイベントに関するアラート

  イベントが解決済みまたは廃止状態に移行した場合のアラートの送信を有効または無効にすることができます。これにより、ユーザは不要な通知を受信せずに済みます。

リスト ビュー

リスト ビューには、作成されたアラートに関する情報が表形式で表示されます。列のフィルタを使用して、表示するデータをカスタマイズできます。アラートを選択して、そのアラートに関する詳しい情報を詳細領域に表示することもできます。

- ステータス

  アラートが有効（）か無効（）かを指定します。

- アラート

  アラートの名前が表示されます。

- 概要

  アラートの説明が表示されます。

- 通知方法

  アラート用に選択した通知方式が表示されます。EメールまたはSNMPトラップを使用してユーザに通知できます。

- 通知頻度

  イベントが確認または解決されるか、廃止状態に設定されるまでの間、管理サーバが通知を送信する頻度（分）を示します。

詳細領域

詳細領域には、選択したアラートに関する詳細情報が表示されます。

- アラート名

  アラートの名前が表示されます。

- アラートの概要

  アラートの説明が表示されます。

- イベント

  アラートをトリガーするイベントが表示されます。

- リソース

  アラートをトリガーするリソースが表示されます。

- 含まれるもの

  アラートをトリガーするリソースのグループが表示されます。

- 除外

  アラートをトリガーしないリソースのグループが表示されます。

- 通知方法

  アラートの通知方式が表示されます。

- 通知頻度

  イベントが確認または解決されるか、廃止状態に設定されるまでの間、管理サーバがアラート通知を送信

する頻度が表示されます。

- スクリプト名

  選択したアラートに関連付けられているスクリプトの名前が表示されます。このスクリプトはアラートが生成された際に実行されます。

- メール受信者

  アラート通知を受信するユーザのEメール アドレスが表示されます。

Active IQ Unified Manager の「アラートの追加」ダイアログボックスについて

アラートを作成すると、特定のイベントが生成されたときに通知されるため、問題に迅速に対処し、環境に対する影響を最小限に抑えることができます。アラートは、単一のリソース、一連のリソース、および特定の重大度タイプのイベントについて作成することができます。アラートの通知方式と通知頻度を指定することもできます。

アプリケーション管理者またはストレージ管理者のロールが必要です。

Name

この領域では、アラートの名前と説明を指定できます。

- アラート名

  アラート名を指定できます。

- アラートの概要

  アラートの説明を指定できます。

リソース

この領域では、アラートをトリガーしたい個々のリソースを選択したり、動的なルールに基づいてリソースをグループ化したりできます。_動的ルール_とは、指定したテキスト文字列に基づいてフィルタリングされたリソースのセットのことです。ドロップダウンリストからリソースの種類を選択してリソースを検索するか、正確なリソース名を指定して特定のリソースを表示することもできます。

いずれかのストレージ オブジェクトの詳細ページからアラートを作成する場合は、ストレージ オブジェクトが自動的にアラートに含まれます。

- 含む

  アラートをトリガーしたいリソースを含めることができます。テキスト文字列を指定して、その文字列に一致するリソースをグループ化し、そのグループをアラートに含めるように選択できます。たとえば、「abc」という文字列が名前に含まれるすべてのボリュームをグループ化できます。

- 除外

アラートを発生させたくないリソースを除外することができます。たとえば、「xyz」と指定して、この文字列が名前に含まれるすべてのボリュームを除外することができます。

「除外」タブは、特定のリソースタイプのすべてのリソースを選択した場合にのみ表示されます：たとえば、<<All Volumes>>または<<All Volumes whose name contains 'xyz'>>。

あるリソースが対象に含めるルールと除外するルールの両方に該当する場合は、除外するルールが優先され、イベントについてはアラートが生成されません。

イベント

この領域では、アラートを作成するイベントを選択できます。特定の重大度に基づくイベントまたは一連のイベントに対してアラートを作成できます。

複数のイベントを選択するには、Ctrlキーを押しながら選択します。

- イベントの深刻度

  重大度タイプに基づいてイベントを選択できます。タイプは、「重大」、「エラー」、または「警告」のいずれかになります。

- イベント名に以下が含まれる

  指定した文字が名前に含まれるイベントを選択できます。

操作

この領域では、アラートがトリガーされた場合に通知するユーザを指定できます。通知方式と通知頻度を指定することもできます。

- これらのユーザーに通知する

  通知を受信するユーザのEメール アドレスまたはユーザ名を指定できます。

  該当するユーザのEメール アドレスを変更し、その後アラートを編集するために開くと、[名前]フィールドは空欄になります。これは、Eメールが変更されたことでユーザとのマッピングが無効になったためです。また、選択したユーザのEメール アドレスを[ユーザ]ページで変更している場合、変更後のEメール アドレスは反映されません。

- 通知頻度

  イベントが確認または解決されるか、廃止状態に設定されるまでの間、管理サーバが通知を送信する頻度を指定できます。

  次のいずれかの通知方式を選択できます。

  - 1回だけ通知する。
  - 指定の頻度で通知する。
  - 指定の期間に指定の頻度で通知する。

- **SNMP**トラップの発行

このチェック ボックスをオンにすると、グローバルに設定されたSNMPホストにSNMPトラップを送信するかどうかを指定できます。

- スクリプトを実行

  アラートにカスタム スクリプトを追加できます。このスクリプトはアラートが生成された際に実行されます。

  この機能がユーザ インターフェイスに表示されない場合は、管理者によって無効にされています。必要に応じて、ストレージ管理 > 機能設定 からこの機能を有効にできます。

コマンド ボタン

- 保存

  アラートを作成してダイアログ ボックスを閉じます。

- キャンセル

  変更内容を破棄してダイアログ ボックスを閉じます。

Active IQ Unified Manager でアラートプロパティを編集する

関連付けられているリソース、イベント、スクリプト、通知オプションなど、アラートのプロパティを編集することができます。

Name

この領域では、アラートの名前と説明を編集できます。

- アラート名

  アラート名を編集できます。

- アラートの概要

  アラートの説明を指定できます。

- アラート状態

  アラートを有効または無効にできます。

リソース

この領域では、アラートをトリガーする対象のリソースを選択できます。リソースは個別に選択できるほか、動的ルールに基づいてグループ化することも可能です。ドロップダウン リストからリソース タイプを選択してリソースを検索するか、正確なリソース名を指定して特定のリソースを表示できます。

- 含む

アラートをトリガーしたいリソースを含めることができます。テキスト文字列を指定して、その文字列に一致するリソースをグループ化し、そのグループをアラートに含めるように選択できます。例えば、名前に「vol0」という文字列が含まれるすべてのボリュームをグループ化できます。

- 除外

  アラートをトリガーする対象から除外するリソースを指定できます。例えば、名前に「xyz」という文字列が含まれるボリュームをすべて除外することができます。

> 「除外」タブは、特定のリソースタイプのすべてのリソースを選択した場合にのみ表示されます（例：<<All Volumes>> または <<All Volumes whose name contains 'xyz'>>）。

イベント

この領域では、アラートをトリガーするイベントを選択できます。アラートは特定の重大度のイベントに対してトリガーするか、一連のイベントを指定してトリガーできます。

- イベントの深刻度

  重大度タイプに基づいてイベントを選択できます。タイプは、「重大」、「エラー」、または「警告」のいずれかになります。

- イベント名に以下が含まれる

  名前に指定した文字を含むイベントを選択できます。

操作

この領域では、通知方式と通知頻度を指定できます。

- これらのユーザーに通知する

  通知の受信者のEメール アドレスまたはユーザ名を編集できます。新しいEメール アドレスまたはユーザ名を指定することもできます。

- 通知頻度

  管理サーバからの通知の送信頻度を編集できます。イベントが確認されるか、解決されるか、廃止状態になるまで、この頻度で通知が送信されます。

  次のいずれかの通知方式を選択できます。

  - 1回だけ通知する。
  - 指定の頻度で通知する。
  - 指定の期間に指定の頻度で通知する。

- **SNMP**トラップの発行

  グローバル設定のSNMPホストにSNMPトラップを送信するかどうかを指定できます。

- スクリプトを実行

アラートにスクリプトを関連付けることができます。このスクリプトはアラートが生成された際に実行されます。

コマンド ボタン

- 保存

  変更内容を保存してダイアログ ボックスを閉じます。

- キャンセル

  変更内容を破棄してダイアログ ボックスを閉じます。

著作権に関する情報

Copyright © 2026 NetApp, Inc. All Rights Reserved. Printed in the U.S.このドキュメントは著作権によって保護されています。著作権所有者の書面による事前承諾がある場合を除き、画像媒体、電子媒体、および写真複写、記録媒体、テープ媒体、電子検索システムへの組み込みを含む機械媒体など、いかなる形式および方法による複製も禁止します。

ネットアップの著作物から派生したソフトウェアは、次に示す使用許諾条項および免責条項の対象となります。

このソフトウェアは、ネットアップによって「現状のまま」提供されています。ネットアップは明示的な保証、または商品性および特定目的に対する適合性の暗示的保証を含み、かつこれに限定されないいかなる暗示的な保証も行いません。ネットアップは、代替品または代替サービスの調達、使用不能、データ損失、利益損失、業務中断を含み、かつこれに限定されない、このソフトウェアの使用により生じたすべての直接的損害、間接的損害、偶発的損害、特別損害、懲罰的損害、必然的損害の発生に対して、損失の発生の可能性が通知されていたとしても、その発生理由、根拠とする責任論、契約の有無、厳格責任、不法行為（過失またはそうでない場合を含む）にかかわらず、一切の責任を負いません。

ネットアップは、ここに記載されているすべての製品に対する変更を随時、予告なく行う権利を保有します。ネットアップによる明示的な書面による合意がある場合を除き、ここに記載されている製品の使用により生じる責任および義務に対して、ネットアップは責任を負いません。この製品の使用または購入は、ネットアップの特許権、商標権、または他の知的所有権に基づくライセンスの供与とはみなされません。

このマニュアルに記載されている製品は、1つ以上の米国特許、その他の国の特許、および出願中の特許によって保護されている場合があります。

権利の制限について：政府による使用、複製、開示は、DFARS 252.227-7013（2014年2月）およびFAR 5252.227-19（2007年12月）のRights in Technical Data -Noncommercial Items（技術データ - 非商用品目に関する諸権利）条項の(b)(3)項、に規定された制限が適用されます。

本書に含まれるデータは商用製品および / または商用サービス（FAR 2.101の定義に基づく）に関係し、データの所有権はNetApp, Inc.にあります。本契約に基づき提供されるすべてのネットアップの技術データおよびコンピュータ ソフトウェアは、商用目的であり、私費のみで開発されたものです。米国政府は本データに対し、非独占的かつ移転およびサブライセンス不可で、全世界を対象とする取り消し不能の制限付き使用権を有し、本データの提供の根拠となった米国政府契約に関連し、当該契約の裏付けとする場合にのみ本データを使用できます。前述の場合を除き、NetApp, Inc.の書面による許可を事前に得ることなく、本データを使用、開示、転載、改変するほか、上演または展示することはできません。国防総省にかかる米国政府のデータ使用権については、DFARS 252.227-7015(b)項（2014年2月）で定められた権利のみが認められます。

商標に関する情報

NetApp、NetAppのロゴ、http://www.netapp.com/TMに記載されているマークは、NetApp, Inc.の商標です。その他の会社名と製品名は、それを所有する各社の商標である場合があります。